

常任委員会 レポート

議員は、常任委員会に所属し、それぞれ調査研修を行っています。研修・視察で知り得たことを、今後の議会活動に生かしていきます。



福祉厚生

市川市では、住民ニーズの多様化から、住民票等の自動交付機を駅や公共施設へ設置したり、コンビニでの交付サービスを行っています。

しかし、これらの事業は、住基カードがなくては受けられないサービスであるため、その普及が課題となっています。今後いかにサービスを向上させ、ニーズに添えていくかという面で、大いに参考にすべきと感じました。

習志野市では、「子どもたちは皆、就学という同一地点に向かっている」という考えから、幼・保一元化の推進に向けて、認定こども園の整備などを行っています。

保育士と幼稚園教諭の一体化が困難であるなどの課題もありますが、子育てしやすいまちの実現のためには、非常に重要な考え方、本町でも大いに参考になる研修でした。

調査地／千葉県市川市・千葉県習志野市
調査事項／住民票等のコンビニ交付サービスの導入経緯および現状
こども園整備と市立幼稚園・保育所の再編計画の概要

海田町基本構想 審査特別委員会

海田町のまちづくりを方向づけ、計画的な行政の運営を図るため、「海田町基本構想」の策定が町長から提出されました。海田町基本構想審査特別委員会に付託して慎重に審査した結果、全会一致で可決しました。

基本構想とは

— 地方自治法では「市町村は、議会の議決を経て、その地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して事務を処理しなければならない」と定められています。

— 今回は、平成23年度から平成32年度までの10年間の基本構想の策定について提出されました。

主な質疑

Q 子育てや教育に関し、環境整備も含め町独自の取り組みをしていく考えはあるか。

A 非常に重要な課題である。国や県が示す方向なども踏まえ、町として何ができるか常に知恵をしばり取り組んでいきたい。

Q 商工業振興について、どう取り組んでいくのか。

A 企業や商工会との連携・情報収集を図り、振興に向けた取り組みをしていきたい。

Q ここ10年間雇用が不安定な状況である。これは命を守る次に大切な施策と考える。積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

A 企業や県などとも協力し、町としてできることはしていきたい。